



## 秋田県特別支援学校職業教育フェア（県南地区）

今年度の秋田県特別支援学校職業教育フェア（県南地区）は、大仙市の『秋の穂りフェア』開催中の10月23日（日）に行われました。

高等部生徒が参加し、大曲ヒカリオイベント広場でのよさこい発表、Anbee大曲市民活動センターでの作業学習製品展示・販売、秋田県障害者技能競技会「錬成会」、作業学習実践発表、作業実演・体験、一般の方への宣伝・チラシ配りに分かれて活動しました。

Anbee大曲市民活動センターでは、秋田県高等学校産業教育フェアも開催されており、会場内はたくさんの人でにぎわい、県南の特別支援学校の取組や普段の学習の成果を発揮する貴重な機会となりました。「錬成会」には2年生の4名が出場し、ビルクリーニング競技で藤原勇哉さんが3位に入賞しました。



「錬成会」で健闘しました



「作業学習製品販売」も好評でした

## 『スマートフォン等でのトラブルが増えています』

スマートフォン等でのトラブルが増えています。Twitter、LINEなどのアプリを周りが使っているので自分も使い始めた人が増えていることが要因のようです。「友達の個人情報を載せてしまった」「友達の友達に勝手に他の人の電話番号を教えた」など、様々なケースがあげられます。

このようにトラブルにつながる原因は、アプリの機能をよく知らないまま使用していること、使用させていることです。



今の時代、便利なものが増えています。でも、使い方を間違えると、本人が気付かないうちにトラブルの元を作っている場合もあります。使い方の約束を決めて使用して欲しいと思います。

## 『中学部作業週間Ⅱ』

中学部作業週間Ⅱが、9月29日から10月5日までの日程で行われました。

中学部では、個々の生徒が社会参加に向けて、働く楽しさを感じ、働く意欲を高めることを目的に作業週間を実施しています。

先日行われた作業週間Ⅱではこれまでの積み重ねもあり、「作業の質」や「作業のスピード」を目標に掲げて作業に取り組む生徒が多く見られました。

木工班、農耕班、手工芸班の各班は、学校祭の販売会で多くのお客様に製品を手にとりいただきました。お客様の一人一人にかけていただいた言葉や笑顔が、作業の意欲につながっています。



「作業週間Ⅱ」の様子

## 『高等部後期チャレンジウィーク』

高等部では、「校内の模擬会社及び企業や福祉事業所等で働く経験を通して、自己理解を深め、職業選択の意欲や態度、職業に対する意識を育てる。」ことを目的として、9月26日～10月5日の8日間、後期チャレンジウィークを行いました。

1年生は、校内実習で、農園芸班4名（農作業）、まんさくの花班5名（料理酒のタグのひも通し）、丸三化成班4名（ポリパックの結束）に分かれ実習を行い、来年度の現場実習への準備学習、将来の社会生活の基盤学習をしました。



「地元実習」の様子

2年生は、現場実習で、地域の企業や福祉事業所での実習を行いました。また現場実習のない日は、現場班として校内でポリパックの結束作業を行い、来年度の地元実習への準備ができました。

3年生は、地元実習で、自宅から企業や福祉事業所に通勤し、終わったら自宅へ帰るというより卒業後に近い状態での実習でした。現場実習のない日は、地元班として校内で、（株）和幸さんの連絡帳シール貼り、広告のごみ箱、てくてくんメモ帳などの制作をしました。

今回のチャレンジウィークの経験を活かし、今後さらに成長していくことを期待しています。

## 同窓会「みんなげんき会」の活動報告

7月31日（日）横手プラザホテルにて、「平成28年度みんなげんき会総会・成人を祝う会」が行われました。今年度は31名の同窓生が参加し、久しぶりに会う同窓生や先生方との思い出話で盛り上がりました。また、平成26年度卒の同窓生15名が成人を迎え、記念品が贈られました。

10月29日（土）の学校祭では、多数の同窓生が来校し、後輩たちの発表や軽食、フィナーレを楽しみました。また、就労・生活支援センターの職員が来校し、卒業生の相談に乗っていただきました。

11月13日（日）は、親子ふれあいデーとの合同開催で、横手清陵学園吹奏楽部の演奏を鑑賞しました。卒業後も毎年、楽しみに参加して下さる卒業生もおります。

2月には、スポーツレクリエーションを計画しています。



同窓会総会の様子